

【特集】

中海宍道湖大山圏域とケララ州 行政と経済界同士が覚書調印



ケララ州政府、INJACK（印日商工会議所ケララ）と覚書を交わして記念撮影する中海宍道湖大山圏域市長会会長の松浦正敬松江市長と同圏域ブロック経済協議会会長の古瀬誠山陰インド協会名誉会長。中央は、橋渡し役を務めたワドワ駐日インド大使（2015年12月11日、ニューデリーで）

会員企業や団体への 協力・支援事業、連携交流事業

2015年度も山陰とインド間の経済交流の「橋渡し役」「懸け橋」としての役割遂行を目指し、
会員企業や各団体の活動を側面サポートしました。

ODA(政府開発援助)を活用したJICA(国際協力機構)の 「中小企業海外展開事業」(案件化調査)

総合建設業

松江土建(株)

松江市

貧酸素状態にある湖沼の低層水域に向けて、高濃度酸素水を供給しながら効率よく水質を改善する独自装置「WEPシステム」導入へ。2015年2月採択。5月からインド北部のウッタラカンド州(デリーから北東300キロ)の湖で現地調査。16年5月で調査事業は終了。現在、WEPシステムを現地に持ち込む第2段階の「普及実証事業」申請に向けて検討、準備中。



総合リサイクル 地域・産業振興コンサル 三光(株) (株)エブリプラン

境港市 松江市

生ごみや汚泥を短期間で堆肥化する大型コンポストをインド南部のケララ州コチ市にある産業廃棄物処理場に導入へ。都市化で急増する食品廃棄物処理と有機肥料を使った農業振興に役立ててもらおう。2015年6月採択。9月末から現地で調査中(1年間)。

水処理

大成工業(株)=2016年4月入会

米子市

急激な人口増などで下水処理能力を超える汚水が未処理のまま放流されているインドに、維持管理が容易な「環境配慮型トイレ」を導入へ。衛生環境の改善、市民の衛生意識向上、雇用創出が目標。2016年2月に採択。6月からインド北西部のラジャスタン州などで現地調査をスタート。2012年以降外務省・環境省のODA委託事業(ソロモン諸島)でも実績がある。



環境配慮型トイレの土壌処理上部は花壇として活用されている。(ソロモン諸島、セント・ニコラス校で)